

新潟県生連

新潟県生活と健康を守る会連合会
〒950-0088 新潟市中央区万代1-2-6-403
TEL 025-241-0288
<https://niigatakenseiren.iinaa.net/index.html>

一人はみんなのために
みんなは一人のために



会員をふやして守る会を大きくし、 誰もが人間らしく生きれる当たり前の社会に ——知人に入会をすすめよう——

新潟県生活と健康を守る会連合会 会長 野本 孝子

猛暑の日々が続いています。
会員みなさん、いかがお過ごしでしょうか？

「クーラーが壊れたけれど、買い替えるお金がない」「なんでも高くて買いたいものが買えない」など、こんな悲鳴があちらこちらから聞こえてきます。国は物価高騰で大変な思いをしている国民に対する支援は、全くしようとしません。

こんな中で、年金も賃金も収入は減っています。高齢でひとり暮らしの生活保護を利用している会員さんが言っていました。「生活保護費で食べることだけは何とかできるけど、トイレトーパーが買えない。毎月少しずつ残して貯めて買っている」と。

憲法25条は、国の責任ですべて国民が「健康で文化的な生活」を送れるようにすると決めています。しかしどうでしょうか。生活保護や年金は引き下げられ、医療費や介護保険、国保料(税)は上がるばかりです。“トイレトーパーも買えない”生活を国民に求める、なんと国の政治はひどいのでしょうか。

岸田内閣は、43兆円の軍事予算をつくるために大增税と社会保障切りすてをすすめています。「生活と健康を守る会」は、生活保護、年金、医療や介護、教育、住宅などの制度をよくし、誰もが人間らしく生きられる当たり前の社会をつくるために、70年にわたって運動をしてきました。今こそ、もっと大きく強くしなければなりません。

全国で9月19日まで会員をふやす大運動をすすめています。会員みなさん、まわりの人に声をかけてください。「一人で悩まないで、あなたは一人じゃないよ」と。そして、守る会の仲間になってもらいましょう。守る会が大きく強くなれば、必ず多くの人たちが笑顔と希望を取り戻すことができます。

入会された会員さんの“居場所”が班です。班会を開き、なんでも話し合い、会員同士が仲良くなることこそ、会員をひとりぼっちにしないことになります。

会員みなさんが1人、2人に入会をすすめてください。班会を開きましょう。そうして大運動を成功させることを心から訴えます。
2023年8月21日

各地で 強く・大きな守る会づくりへ決意新たに 総会

かけがえのない会 2倍・3倍に 上越



上越守る会は8月6日、数年ぶりの総会を開き、活動方針と新役員を決めました。

平良木哲也新会長は、「市民生活が大変な時に、歴史もあり、必要とされている守る会を2倍3倍に大きくしよう」とあいさつし、大きな拍手が送られました。長年会長を歴任した池田伸吾さんが退任あいさつを述べ、みんな感謝の拍手を送りました。閉会後は、持ち寄った手製の漬物とお弁当を食べながら歓談しました。

歴史と伝統受け継ごう 新発田



8月20日、新発田守る会は、4年ぶりに総会を9人の参加で開催しました。この間、奥

さんを亡くした方、コロナに感染した人も何人もいました。エアコンを修理したら一万円もかかった人も。この3年間、施設入所、死亡で会員が減少しているので、身の周りに気を配り、月に1会員2部拡大しようと話し合いました。最後に缶ビールで「暑さに負けずにけず頑張ろう!」と、乾杯しました。

高齢者・障害者を取り残さないで 健康保険証の廃止は直ちに中止を！

新潟市江南区 吉野雅子さんからの手紙



私の夫は要介護4で、一人で外出できず、言語障害もあるので、思うように話すこともできません。

マイナンバーカードの申請は困難です。内科・歯科などの医療機関の受診もできないので、訪問診療にしてもらっています。それでもマイナカードを取得できたとしても、顔認証などは不可能です。マイナカードのかわりに資格確認書を発行すると政府は言っていますが、その申請も夫はできません。

私の知人で70歳代一人暮らしの全盲の女性が、私に、「自分みたいな障害者は、マイナカードは申し込みもできない。国はマイナカードを申し込みすればポイントをやるとか紙の保険証

をなくすとかアメとムチで躍起になっているけれど、どうしてなのか」と聞きました。私は、「財界からの強い要求で、全国民にマイナカードを持たせようとしているのよ。大企業にしてみれば、国民の医療や年金などの公金受け取り口座の中身が全部わかれば情報の宝の山ですもの」と答えました。

私たちからすれば、従来の紙の保険証は毎年送られてくるし、暗証番号を暗記する必要もない。紛失すれば簡単に再発行してもらえ、障害者にとっても何の問題もありません。マイナカードは私たちにとって何のメリットもなく、デメリットばかりです。一刻も早く廃止してもらいたいと切望します。

猛暑による県民の「命の危機」を救え



「猛暑は自然災害」

エアコン、電気代助成を県に要望

新潟県生連は8月25日に、熱中症で命の危機と隣り合わせに低所得者への熱中症対策として、①県としてエアコンの電気代助成、②エアコン購入費・設置費の助成、③熱中症予防のための公共施設開放を求めました。



クーラー付けるとお金が落ちる音がする

参加者は実態を話し、要求の実現を迫りました。「3万円給付金は物価値上げにすら足りないのに、エアコンの電気代には回らない」「公営住宅や近所で、熱中症とみられる高齢者の死亡が確認されている」「この気温では公共施設へ徒歩で行く間に体調を壊すので、容易にいけない」「一人暮らしの高齢女性、新聞が溜まっているので市役所へ通報して調べてもらったら、エアコンが壊れて娘のところに避難していた」「ペットに小鳥を飼っているのクーラーをつけるが、夏場は電気代が月に5000円以上も増えるので大変」「大雪が災害であるように、猛暑も災害対応してほしい」

県「3万円給付金を活用してほしい」

県担当者は、「総合的に勘案した結果、8月までに市町村が非課税世帯・生活保護世帯等に3万円給付金を支給しており、その他にも子育て世帯給付金等があるので、それらを利用してほしい」「地域ごとのクーリングシェルター（公共施設などの開放）の活用を」

エアコン購入費貸付けます 県社協が新潟県生連に回答

新潟県生連では、8月29日、県社協にエアコン購入費を生活福祉資金で貸し付けることを求めました。県社協は、福祉資金で貸付できるので利用してほしいと、貸付けなかったことを「反省している」と回答しました。貸付決定は会長決済で迅速化すると述べました。

急いで制度を知らせ、申請の援助を

貸し付け対象世帯の所得基準（生活保護の1・7倍）
貸し付け上限額 500,000円
返済期間 3年以内
措置期間 半年以内
連帯保証人原則必要だが、無でも可
利子 保証人有なら無利子、無なら年1.5%